

個別的な視点からの取組

第2学年 特別活動 ◇「性自認」「性的指向」

題材名 「互いの色を尊重しよう」

ねらい

男女の互いの違いを認め、自己のよさを生かせる活動を選択し、学校生活の中で積極的に自己のよさを発揮しようとする態度を育てる。また、集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる態度を育てる。

人権教育の視点

男女の互いの違いを認め、自己のよさを生かせる活動を選択し、考える活動を通して、性の多様性について気付かせるとともに集団としての意識を高め、集団（社会）の形成者としてのよりよい態度を育成する。

学習活動

人権啓発マンガ冊子を題材とし、性の多様性についての理解を深め、それを尊重する社会にするために自分ができることは何か考え、違うことを認め合ったり、相手の立場に立って考えたりすることの大切さに気付かせる。

第2学年 特別の教科 道徳 ◇「路上生活者」

主題名 「偏見や差別のない社会の実現」（『令和4年度人権教育プログラム』）
【C 公正、公平、社会正義】

ねらい

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、偏見や差別のない社会を実現しようとする心情を育てる。

人権教育の視点

路上生活者（ホームレス）が路上生活に至るまでには、多様な理由があること等について考える活動を通して、路上生活者に対する差別的な行為が、いかに相手の人格を傷付けているのかに気づき、相手の立場を理解しようとする心情と、偏見や差別をなくそうとする態度を育てる。

学習活動

「3人のエピソード」、「路上生活者（ホームレス）に対する事件」（令和4年度人権教育プログラム）の資料を読み、相手の立場を理解しようとする心情と、偏見や差別をなくそうとする態度を育てる。

第3学年 特別の教科 道徳 ◇「性自認」「性的指向」

題材名 「自分らしさの追求」
資料名：「好きと伝えられる社会へ」 【B 相互理解、寛容】

ねらい

性については多様性があることを理解し、性的指向の異なる人たちへの偏見や差別のない社会を実現していこうとする態度を育成するとともに、相手の考えや立場を尊重して行動しようとする態度を育む。

人権教育の視点

多様な性のあり方を含む人それぞれの違いや多様性について考え、話し合うことを通して、互いに認め合い、尊重し合いながら共に生きようとする態度を育む。

学習活動

中学生の主張東京都大会発表作文『自分らしさの追求』を読んで、性の多様性について理解を深める。

第3学年 社会科 ◇「アイヌの人々」

単元名 「人権と共生社会」

目標

人間の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させ、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、多面的・多角的に考察し、人権が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を身に付けさせる。

人権教育の視点

アイヌの人々の歴史や伝統、文化について理解を深める学習を通して、民族としての誇りが尊重され偏見や差別を許さない社会を実現しようとする態度を育む。

学習活動

アイヌの人々の歴史について歴史的分野での学習を振り返るとともに、アイヌの人々が厳しい環境に置かれていたことを確認し、明治・平成・令和に至る法整備を取り上げ、差別のない多様で豊かな文化をもつ活力のある社会を築く努力がなされていることを理解する。



第3学年 社会科 ◇「同和問題（部落差別）」

単元名 「消費生活と経済」

目標

身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させ、市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を身に付けさせる。

人権教育の視点

食肉市場の役割とそこで働く人々の仕事について正しく理解し、食肉市場やそこで働く人々に対する差別や偏見について気付くことを通して、同和問題の解消に向けて主体的に行動しようとする態度を養う。

学習活動

お肉の情報館のDVDを視聴した後に、ゲストティーチャーに質問し、その返答を通して食肉を解体する仕事について理解を深める。

